



よこ館だより



Est. 1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局

理事長閑話 うめ草 (27)

～縁～

先日、元キートスホーム園長で、法人評議員だった大村洋永さんから時候のご挨拶のお便りを頂戴しました。彼と私は明治学院大学社会福祉学科で同期生でした。因みに入学は1965年、その年に開学した第一回の社会福祉学科入学生でした。私は大学では福祉の勉強より山岳部活動に注力して毎年年間100日近くは山に入っていました。彼は真面目な福祉学科の学生、その頃からセツルメント活動や青少年健全育成活動に地道に取り組み、就職は福田垂穂先生のご推薦でYMCAでした。たまたま彼が90年代立川のYMCAに赴任され私と再会しました。そしてその後、足利で特養の小生活単位ケアに取り組んでいた彼をキートスホームの開設準備に合わせて来て頂きました。彼は年間100冊の読破を誇る教養人です。今でも立川の「シルバー大学」や「市民交流大学」で講師として活躍の様子です。さて、今回彼のご紹介ということではなく、この世の「ご縁」のお話です。

彼が至誠ホームに就職されたのも偶然のご縁でしたが、そのお便りに書かれていたのですが、過日中学校の恩師立木典子先生が入院されたので友人に誘われてお見舞いに行かれた際のお話です。先生は御茶ノ水女子大学を卒業され最初の赴任校が立川の中学校だったそうです。そして校舎はその頃法人が立川市にお貸しをして、市立一中の分校として使われていた至誠学舎の本舎だったそうです。今ではあまり知られていない法人の歴史ですが、その頃の至誠学舎に置かれた中学校の先生が法人の元園長の恩師だったなんてご縁ですよ。

先生は大村さんが至誠学舎でお仕事をしていたこととお聞きになり、大変驚かれたそうです。残念ながら先生はその後入院先でご逝去されました。その事実を偶然にお亡くなりになる直前に大村さんにお話されたことは、これもまた不思議なご縁だとは思いませんか。

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

今年は、突発的な猛暑から始まり、福岡をはじめ局地的ゲリラ豪雨と長雨、過去に例のないような規模での異常気象が多かった夏です。各保育園でも、心配した事故、感染症等も大過なく過ぎようとしています。何といたっても子どもたちはプール、水遊びが一番で、夏ならではの活動も元気いっぱい過ごしました。また、職員の夏期体制を的確に調整することにより、計画的な休暇取得にもつなげています。

関東大震災からこの9月の防災の日で94年が経ち、地震の活動期仮説は70年から80年位とのことで、年々危機意識は高まり改めて災害について認識を深める良い機会です。東北大震災に学び備えていく、大切な時期でもあります。各自治体等でも災害への取り組みが積極的に行われています。立川市と当法人とが締結した「災害時における災害活動等の支援に関する協定書」では、二次避難場所としての乳幼児避難者の受入れ体制等、課題を整理しておく必要があります。各事業本部でも従来の町会からの応援協力体制だけでなく、反対にこれからは法人としてBCPを含めた二次避難場所提供の体制、仕組みなど整理し災害時の社会貢献事業として、地域との相互関係を一体的に確認していくこととなります。いつ災害が起きてもよい備えが大切です。

季節は秋、ご自愛ください。



平成 28 年度引き渡し訓練

保育事業本部長 稲永勝行

事業本部情報

♣児童事業本部♣

今年の夏は、少し日差しが少なかったようです。学園、大地の家、大空の家の子ども達は、夏休みに恒例になりました海水浴や山へキャンプに出かけ大自然の中で多くの事を体験し楽しく過ごす事ができました。行事の実施にあたり多くの方々的心温かいご支援のもと無事に終えることができました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。夏休みの良い思い出となりました。

先日、安全衛生推進者養成講習に参加しました。現在、社会福祉施設において労働災害が増加している現状から、事業所内の安全衛生計画の見直しが重要視されております。子ども達、利用者により安全安心な生活環境と質の高い支援、サービスの提供ができるよう従事する私達職員が日常から労働災害の再発防止に努めていきたいと思っております。今年度も半年経過し前半の見直しを行い予算、事業計画に即した確実な運営をおこないます。今後ともよろしく願いいたします。
(櫻井 壽)

♣保育事業本部♣

8月は記録的な長雨で、子ども達が楽しみにしていた水遊びも思うようにできませんでした。園内で快適に過ごせるように保育士の工夫が見られました。製作、運動遊び、ゲームを通しての異年齢交流がいつもの夏よりできたようです。その中で子ども達は、仲間の中の一人として自覚が生まれ、自分自身への自信と友達との親しみや信頼感を高めているようです。

今年度、保育事業本部では大きな2つの事業を行っております。ひの宿保育園の建設と至誠第二保育園の改築です。至誠第二保育園はまだ大きな園舎全体の姿は見えませんが工事も終盤です。計画通りに進むといよいよ10月に引っ越しです。『引っ越し大作戦!』と本部長の掛け声で保育事業本部の職員がお手伝いをする計画を立てています。『多くの人の声を聞き取り、助けてもらったり、助けてあげる職員となりましょう』

10月7、8日『至誠第二保育園引っ越し大作戦!』宜しく願いいたします。

その後は4月開設に向けて日の宿保育園の工事が進みます
(長谷川育代)

♣高齢事業本部至誠ホーム♣

9月は長寿月間です。至誠ホームでは「長寿を祝う会」を中心に各所で利用者の長寿をお祝いします。*16日(土)至誠特養、至誠ホームアウリンコ、和光ホーム*17日(日)至誠ホームキートス、若葉ケアセンター*18日(月)至誠ホームミンナ(*8日(金)スオミケアハウスはウイズアスパーティ)以前は年齢の節目で、喜寿・米寿・白寿などになられたお年寄りにお祝い金が行政から出たりしていました。皆でお祝いしましょう!

9月は一方で防災月間としての位置付けがあります。8月25日版の立川広報では①備蓄品を確認しよう②家の安全を確認しよう③防災訓練に行こう④情報を収集しよう等の項目があげられています。各所でいろんな取り組みがあります。

本年7月12日(水)立川社協の主催で「災害時における要配慮者の現状と課題」研修会～災害時に社会福祉法人は何が出来るのか～が立川市女性総合センターアィムで開催され、東日本大震災・熊本地震の教訓と備えから始まり、避難所での緊急対応、避難所で環境整備、要配慮者への対応：障害者、福祉避難所の施設要件など細かく具体的なお話がありました。常務理事の旭ホーム長と一緒に参加しましたが、このテーマの伝達研修会を9月6日夕刻立川北口「アィム」で開催、旭ホーム長が講師としてお話してくれます。ぜひ参加して下さい。

(金井裕一)

本部事務局だより

ここの所、天気の話は事を欠かない。今年の夏は猛暑と予想されていたが、暑かったのは7月だけ、8月は記録的な長雨と低温が続き、農作物や経済に与えるダメージの報道が続いている。その中で、個人的に実感しているのが天気の急変、特に雷とゲリラ豪雨の多さだ。

先日、スーパーで買い物していたら突然、ドカーンと大きな音がして停電になった。非常灯が点きレジが動かなくなったため、暫く清算できなかった。

昔、近所の家に雷が落ち、我が家のテレビも故障した事があった。もちろん被雷した家の家電は全滅したが、火事にならなかったのが幸いだった。雷の被害も火災保険の対象なのをご存知だろうか?但し、「家財」が保険の目的に入っていれば保険金が支払われるが、「建物」しか入っていないければ、家財に損害があっても保険金は支払われません。これを機に保険証を確認してみたいはかがでしよか?
(野島 忠幸)

<編集後>電車の混雑が和らぐ平和な夏休みも終わり、また平常の学生たちがにぎわう通勤サイクルに戻りつつあります。残暑が続くかもしれないので体調には気を付けて秋の実りを楽しみましょう。